

-アセスメントフォーラム東京2018 開催レポート-

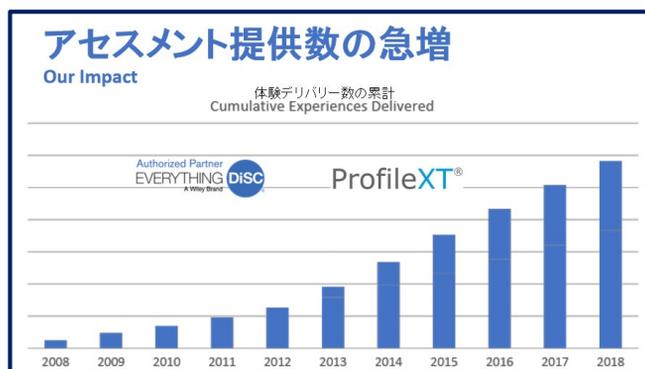
「人材アセスメントツールの導入、その後」 人材データの活用による成果の事例が紹介される

プロダクト開発責任者からのビデオメッセージが寄せられ、
ビズリーチ社、小林製薬社などの導入関係者から事例を共有

2018年12月7日（金）、Everything DiSC®やProfileXT®を始めとした人材アセスメントの事例や最新情報を学ぶ「アセスメントフォーラム東京2018（AFT2018）」が、「人材アセスメントツールの導入、その後 -Assessment to Action -」をテーマとして開催されました。このフォーラムは、複数のアセスメントソリューションに関し、認定資格を有するプロフェッショナルの人事・人材開発コンサルタント並びに企業経営者/人事担当者が一堂に会し、導入の事例を毎年共有する国内で唯一の機会です。



満足度の高いツールが組織文化の変革を加速する（基調講演より）



基調講演にて共有されたスライド



アセスメント開発責任者によるビデオセッション

「HRの未来とWiley社のブランド戦略」というタイトルで基調講演が実施されました。ユーザー満足度を示す調査結果（NPS: ネット・プロモーター・スコア）の具体的なデータを基にして、高い満足度のアセスメントツールが組織文化の変革を加速させていることについて発表されました。人材アセスメントの活用は対人スキルの課題を解決し、企業文化の形成に貢献する、“文化こそ我々の戦略である”というメッセージは聞き手を惹きつけるものでした。

続いて、アセスメントプロダクト開発者によるビデオセッションでは、アセスメントツールの品質を左右する要素から始まり、プロダクトが市場に届けられるまでの一連の開発ストーリーが共有されました。製品化するスピードよりも信頼性・妥当性に裏打ちされた品質を重視するWiley社開発ポリシーは、人事・人材開発のプロフェッショナルの活用に資するものだと、参加者からポジティブなコメントが寄せられました。

「人材アセスメントツールの導入、その後」 を各参加者が考え、行動へと繋げるフォーラムに

<AFT2018 開催概要>

1) 導入企業による分科会セッション/ アセスメント学習セッション：

導入企業による事例紹介セッションが複数の分科会にて展開されました。Everything DiSC®、ProfileXT® (PXT)、そしてCheckPoint360™ (CP360) の事例として、人事領域の課題に応じた最適なアセスメント活用事例が公開されました。また、各ソリューションを深める学習セッションにも注目が集まっており、参加者の次なる行動を促しました。

2) **パネルディスカッション**：DiSC、PXT、CP360の導入企業によるパネルセッションも好評を博しました。アンケートには、「実際の現場での取り組みが良く伝わった」などのコメントが寄せられました。

3) **テクノロジーを用いた学びの共有**：フォーラムのクロージングとして、各分科会の振り返りを実施。今回はラーニングプラットフォーム「UMU」を活用することで、タイムリーな意見交換や参加者同士のコミュニケーションの加速を促しました。参加者同士の考え方を即時に共有することは、学びを深め、今後の行動へと繋げることになります。参加者からは、「タイムリーに意見を共有できるのは、とても新鮮。UMUもパワフルなツールの1つであると感じました。振り返れる機会があるのも魅力的です。」との声が寄せられました。



ビズリーチ社による分科会



パネルディスカッションの様様

参加者の声（アンケートからの抜粋）

- ・参加された皆様がツールのファンで、そのコミュニティが相互学習の場になっていることが素晴らしいです
- ・フォーラムの場には、同じ価値観をもった一体感を感じた
- ・事例発表が具体的でわかりやすかった
- ・導入した社内、組織内での活用精度が高い印象を受けた
- ・組織文化を作る大切さとそこにアセスメントを活かせること
- ・データを基に客観性を取り入れることが、HRの世界でも流れになると確信した

参加アンケート/
全体満足度
(5段階評価)



集計結果

「**4.65**」

来年のAFT開催日は2019年12月6日(金)です。